

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

きょうとふあやべし

No.-29 : 京都府綾部市 (人口 : 34,437 人) 推計人口 (平成 26 年 1 月 1 日現在)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR綾部駅に下車後、市営あやバス「綾部駅南口」バス停からあやバス西坂線に乗車、26分間で「かじや」バス停にて下車(綾部市里山交流研修センターは「かじや」バス停すぐ)

(2) 事業実施の目的等

【あやべ里山サポーターになろう！】

綾部市里山交流研修センターは過疎化に伴い閉校となった小学校を再活用し地域振興に役立てている。センターの指定管理者「里山ねっと・あやべ」と綾部市では「綾部里山交流大学」を実施して都市農村交流と人材育成に役立てている。近隣の「京都丹州木材市場」で10月に地元材普及のため「京都丹州もくもくフェスタ」が開催されるのを機に、フェスタの見学や里山での道作り、竹炭焼き作業、共同調理などに取り組み、秋の里地里山でよい汗を流していただきたい。

(3) 体験の内容

- ・京都丹州木材市場の「京都丹州もくもくフェスタ」を見学し地元木材の価値を楽しく学ぼう
- ・山に木の杭の階段をつくり歩きやすい山道を作ろう
- ・竹を切り炭化させ田畑に入れて「竹の炭素循環」の仕組みを作ろう
- ・竹炭を入れた畑でできたさつま芋を収穫し焼き芋を楽しもう
- ・薪や炭で調理するアウトドア料理で里山の燃料を使う意義を実感しよう

(4) 受入主体

綾部里山交流大学
(事務局=里山ねっと・あやべ)

(5) 受入期間

2014年10月11日(土)~10月13日(月)3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担 体験料：自己負担 ※大学ゼミの予算や企業の研修予算など団体予算での参加歓迎
①要件	都市農村交流や里山再生、田舎での持続可能な暮らしに関心のある5名以上のグループ(大学生・大学院生、大学教官、ゼミ旅行、企業のCSR担当部署、里地里山や廃校活用に関心のあるNPO団体など)
②応募締切り	2014年8月31日(日)
③宿泊施設	綾部市里山交流研修センター
④食事形態	自炊もしくは調理提供いずれも可能
⑤その他	最小催行人員5名 上限30名 グループ(ゼミや団体)での参加を優先

(7) 地域担当者から一言

この企画を通じて里山の価値を全身で実感し、地域住民と親しむとともに、綾部という土地の魅力に触れて、人口減少に悩む綾部の再生を担うサポーターになってください！

(8) お問い合わせ先

自治体名 綾部市	担当部署 定住交流部 観光交流課
(ふりがな) よしだ さき 担当者氏名 吉田 紗希	TEL : 0773-42-3280 (内線) 315 FAX : 0773-42-4406
E-mail : daigaku@satoyama.or.jp	
URL : http://ayabesatoyamacollege.net	
応募宛先 〒 623-0235 京都府綾部市鍛冶屋町茅倉9里山ねっと・あやべ内 綾部里山交流大学事務局 電話 : 0773-47-0040 FAX : 0773-47-0084	